Shonan International Marathon

ボランティア共通マニュアル
メンバー版

SHONAN INTERNATIONAL MARATHON

目次

1　行動指針＆心得

2　ボランティア組織について

3　配付物について

4　ウェア・キャップ

5　Q&A

NAME＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【ボランティアの心得】
笑顔で楽しく、安全に活動しましょう！

ボランティアは大会の顔です。
ランナーや来場者にとって安心できる存在となるよう、以下をよく読み、実践してください。

１　事前にマニュアルを熟読する
活動内容・集合場所・担当業務・緊急連絡先を把握しましょう。

２　集合には余裕を持って到着する
早めの到着で着替えやブリーフィングに余裕を持てます。交通事情による遅延も考慮しましょう。

３　挨拶・報告は明るく丁寧に
他のボランティア、運営スタッフ、協力会社との連携は大事です。挨拶は大きな声で元気よく、言葉遣いは丁寧に。

４　受付で必ずボランティアウェアを受け取る／終了時に返却しグルメカードを受け取る
ウェアのポケットやその場の忘れ物に注意。返却忘れは次回の運営に支障をきたします。

５　活動中はウェアを正しく着用する
身だしなみは大会の信頼に直結します。

６　休憩時はウェアを脱ぐ
給食や飲食スペースのルールに従い、清潔を保ちましょう。

７　体調管理を最優先に：無理はしない
具合が悪くなったらすぐに所長・運営本部へ報告。
熱や咳、発熱症状がある場合は参加を控えるか、速やかに交代を依頼してください。

８　大会のルール・指示に従い、分かりやすく案内する
ルールと安全が最優先。案内は短く、具体的に伝えましょう。
（例：「コースは左側を走ってください」「給水はここです」）

９　応援の言葉は選ぶ
激励は歓迎されますが、ランナーの状況によってはプレッシャーになることもあります。
推奨フレーズ例：「いいぞ！」「頑張れ！」「ナイスランです！」「もう少し！」
避ける表現：体型・速度・タイムを否定的に言う、過度にプレッシャーをかけるコメントはやめましょう

１０　何よりも楽しむこと！
安全と協力を第一に、仲間と笑顔で活動しましょう

Let’s enjoy! Let’s smile!

【活動コンセプト】
S･I･M（Shonan International Marathon）ボランティアメンバー
活動の中で意識しましょう！

S（Supporter）- 支える人

・ランナーをサポート!
・気配りと心配りで大会を支える

I（Innovator）- 工夫する人

・ボランティア活動の質を高めるアイデア、より良い方法を考える
・その場に応じた柔軟な対応をする

M（Motivator）- 盛り上げる人

・周囲の人を励まし、楽しく活動できる雰囲気を作る
・積極的にコミュニケーションを取り、自らが楽しむことで、他のメンバーのやる気を引き出す

ボランティア組織について

【メンバー】
個人・グループ・チームメンバー　　最前線で選手をサポート

▼

【リーダー】
個人リーダー・チーム代表者　　メンバーを統括

▼

ブロック長　　ブロック全体を統括

▼

大会本部（ボランティア事務局含む）

メンバー（個人・グループ・チームメンバー）
・事前に担当の活動マニュアルを読み込み活動当日に備える。
・リーダーの指示のもと、楽しんで活動する。
★会場の荷物置場・会場内誘導およびコースの平塚花水B2～江の島D7区間は、協力会社も一緒に活動します。

リーダー（個人・チーム代表者）
担当する活動（コースでは各エリア）において、メンバー（5～20名程度）を統括します。
ブロック長と連携し、担当箇所を円滑に運営できるよう努めるとともに、メンバーが達成感を感じられる環境づくりにも配慮します。

事前配布物

スタッフID　※11月中に郵送
ラスカクーポン　※11月中に郵送

印刷したマニュアルの配付は行いません。
11月14日（金）に活動マニュアルをウェブ上に掲載予定です。

参加特典

グルメカード（1,000円分）

※活動後の配付となります。
※クオカード配付の予定から変更になりました（8月5日案内）

グルメカードイメージ図

当日配布物

スタッフキャップ・スタッフウェア
環境配慮のため、リユースとし、活動日毎の集合時に配付、活動終了時に回収します。
回収した物はクリーニングし、次回大会にリユースいたします。

	ブロック長	リーダー	ボランティアメンバー（給水）	ボランティアメンバー（コース上誘導・会場）
キャップ				
	黒	黄	青	白
ウェア				
	緑			

救護ウェア／キャップ

救護ウェアは全４種類です。
（①救護ボランティア　②救護コーディネーター　③看護師　④医師）

	①救護 ボランティア	②救護 コーディネーター
キャップ		
	赤	
ウェア		
	赤	白

	③看護師	④医師
キャップ		
	赤	
ウェア		
	白	

ボランティア活動にあたってのQ＆A

Q：急な用事や体調不良で参加できなくなってしまったのですが…
A ボランティアに参加できないとわかった場合は出来るだけ早くボランティア事務局までご連絡ください。
大会前日、大会当日のお電話でのキャンセル連絡はお控えください。
※キャンセルフォーム
https://www.r-wellness.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=sscc_cancel にて、
【氏名】【メールアドレス】【キャンセルする日程】【キャンセル理由】を入力ください。
あわせてキャンセル理由の欄には、【活動場所】【活動内容】もご入力をお願いいたします。

Q：どのような服装で参加すればよいですか？
A：寒暖・雨天等の天候を考慮のうえ、動きやすい服装で参加してください。スカート・ハイヒール・サンダルは禁止です。
なお、当日、主催者によりふさわしくない服装であると判断された場合は、主催者の指示に従っていただきます。

Q：防寒・雨天対策のため、ボランティアウェアの上にジャンパー・コートを着用してもいいですか？
A：防寒具、雨具を着用する際はボランティアウェアの下に着用し、ボランティアウェアが一番上になるようにしてください。
※傘をさしながらの活動はできません。なお、休憩中は必ずボランティアウェアを脱いでください。

Q：荷物を預ける場所はありますか？
A：準備しておりません。貴重品を含め、荷物は各自で管理し、盗難や紛失に十分ご注意ください。貴重品・荷物の紛失に関しては、事務局は一切の責任を負いません。

Q：着替え場所はありますか？
A：準備しておりません。予め、動きやすい（活動する）服装で活動場所にお越しください。

Q：活動中に休憩は取れますか？
A：各担当リーダーの指示により、適宜休憩をとれるよう配慮しています。
食事休憩を取る場合は、ボランティアウェアを脱ぎ、迷惑にならない場所で食事をとってください。
活動中トイレに行く場合は、リーダー（見つからない場合は近くのボランティア）に声をかけ、用が済んだら速やかに配置場所へ戻りましょう。

Q：活動中に、食事の支給はありますか？
A：原則、食事支給はありません。各自でご用意ください。

Q：選手（もしくはボランティア）のものと思われる落とし物を見つけた場合はどうすれば良いですか？
A：周囲の方々に確認し、落とし主が見つからない場合はリーダーに連絡し、引き渡してください。
その際、拾得した場所、時間、拾得者情報（氏名・連絡先）を必ずリーダー・ブロック長へ報告してください。

Q：選手から遺失物の問い合わせを受けた場合はどうすれば良いですか？
A：周囲のスタッフに声をかけ該当のものがなかったか確認してください。
見当たらない場合は、後日大会事務局（0466-21-6667）まで問い合わせるようご案内してください。
大磯プリンス会場での問い合わせの場合は、総合案内にとどいているかもしれませんのであわせて確認してください。

Q：活動当日、集合場所まで車・バイクで行ってもいいですか？
A：どの集合場所にもボランティア用の駐車場の用意はありません。特に大会会場周辺は交通規制がかかっているため、送迎も含めて車・バイクでの来場は全くできません。公共交通機関をご利用ください。

Q：活動を終えるときはどうしたらいいですか？
A：活動終了後、リーダーが終礼をおこないますので必ず最後まで参加してください。点呼をおこない、御礼のグルメカードを配付します。

Q：活動中ケガをしてしまったらどうしたらいいですか？
A：ボランティアすべての方を対象に傷害保険に加入しております。活動中にケガ・事故等があった場合には、その適用範囲内で対応いたします。ボランティア事務局までご連絡ください。

Q：ボランティアウェアはリユースの為、返却とありますが間違えて持ち帰ってしまった場合はどうすれば良いですか？
A：事務局に郵送返却してください。※送料は自己負担でお願いいたします。